

墓 碑



梵字種子

ア

と読む

胎藏界【大日如来】

宇宙一切事を空に観想し冥想

阿闍利法印口妙
観壽院靈庵妙口大姉

當院代々聖靈

阿闍利法印行峯

靈光院觀秋妙善大姉

文化二年□八月十四日

右

位

梵字種子

左

当山二八世 干時安政二年

当院代々の聖靈 乙卯月日

文化年間の記録によると、浦城落城後三浦氏縁の尼僧が、戦没した城主・主従を当地に庵を結び代々供養している。また、高岳山・浦城周辺には修験者達が居て、神仏に通じ、浦城合戦の戦後処理をし、埋葬したと思われる。

宝祥院（観音様奉じる）・表記は異なるが同一と思われるが、宝性院・法性院・宝積院そして当墓碑を守った、御瀧胎藏院等の名が見られる。天台系の盛医山東谷寺時代から、浦大町の戦国時代・江戸時代までの仏事を司ってきたらしい。それから考察すると、三浦氏で奮戦命を落とした武将や兵士の埋葬に関わっていたものと思われる。特に宝祥院（観音様奉じる）は、三浦兵庫守盛永自刃西観音は関係が深のではないのでしょうか。

—— 山伏修験道を参考にする。 ——

同碑は、刻印のように安政2年から28代を遡ると、浦城落城の天正年間に関わることは事実となる。



周辺には落城兵士を埋葬したと思われる聖地が数カ所ある。現代の村民が山芋堀をしていて多量の細かい人骨が出た場所・畑のゴボウ堀で多く古銭を彫り上げ中世の生活の痕跡を発見している場所もあるが、発掘ができれば明らかになる。